

第3回 『更級日記』

次の文章を読んで後の設問に答えよ。

花の咲き散るをりごとに、乳母なくなりしをりぞかしとのみあはれなるに、同じをりなくなり給ひし侍従の大納言の御むすめの手を見つ^aつ、すずろにあはれなるに、五月ばかり、夜ふくるまで物語をよみて起きゐたれば、来つらむ方も見えぬに、猫のいとなごうないたるを、おどろきて見れば、いみじうをかしげなる猫あり。いづくより来つる猫ぞと見るに、姉なる人、「あなかま、人に聞かすな。いとをかしげなる猫なり。飼はむ」とあるに、いみじう人なれつつ、かたはらにうち臥したり。^②尋ぬる人やあると、これをかくして飼ふに、すべて下衆のあたりにもよらず、つと前にのみありて、物もきたなげなるはほかさまに顔をむけてくはず。姉おととの中につとまとはれて、をかしがりうたがるほどに、姉のなやむことあるに、ものさわがしくて、この猫を北面にのみあらせて呼ばねば、かしかましくなきののしれども、なほさるにてこそはと思ひてあるに、わづらふ姉おどろきて「いづら、猫は。こちみて来」とあるを、「など」と問へば、「夢にこの猫のかたはらに来て、おのれは侍従の大納言殿の御むすめのかくなりたるなり。さるべき縁のいささかありて、この中の君のすずろにあはれと思ひ出で給へば、ただしばしここにあるを、このごろ下衆の中にありて、いみじうわびしきことと言ひて、いみじうなくさまは、あてにをかしげなる人と見えて、^④うちおどろきたれば、この猫の声にてありつるが、いみじくあはれなるなり」と語り給ふを聞くに、いみじくあはれなり。その後はこの猫を北面にも出ださず思ひかしづく。

語句

。すずらなり「漫らなり」**〔形動〕**①なんとなく②不意に

③むやみに・やたらと④無関係だ・つまらない

。いづく「何処」**〔代〕**へくは場所を表す接尾語

場所についての不定称の指示代名詞。どい。

。おとと「弟・妹」**〔名〕**へおとつとともく

男女にかかわず年下のきょうだい。弟または妹。

。つーと**〔副〕**①じつと・そのまますうと。②急に。ナッと。

。らうたがる**〔動〕**へがるは接尾語。かわいがる。

。かしこまし**〔形〕**かしもがまし「も怪しい」の意。

やかましい。うるさい。

。なほ「猶」**〔副〕**①やはり②もっと

。あてなり「貴なり」**〔形動〕**①身分が高い。②上品だ。優雅だ。

。かしづく「頭付く」**〔動〕**①大切に育てる②大切に世話する